



# さとにきたら ええやん

バリアフリー  
字幕版

上映会

参加費  
無料

## おためし こどもカフェ



# 10/28

土

# 10:00~14:00

※受付は9:30より

- 第1部 10:00-11:45 映画上映会 (事前申込制、先着100名)  
"ドキュメンタリー『さとにきたらええやん』を観て考えるこどもの居場所"
- 第2部 12:00 おためしこどもカフェ (お弁当を提供します。限定100食)  
"エコバッグ"をお持ちください。支援物資の提供があります！  
こどもは無料、大人は200円以上のカンパをお願いします！  
※アレルギー対応はしておりませんのでご了承ください。
- 第3部 13:00 交流会 ("こどもの居場所"についておしゃべりしましょう。)

会場

ムトスぷらざ 多目的ホール  
丘の上結いスクエア2F (飯田駅前旧ピアゴ)



お申込

QRコードのフォームより ▶  
または✉▶ [minami00kodomopf@gmail.com](mailto:minami00kodomopf@gmail.com)

メールにて、件名/「映画上映会」申込み希望と入力し、①お名前 ②参加希望イベント (上映会/こどもカフェ/交流会) ③参加人数 ④「おためしこどもカフェ」に参加される場合、お弁当が必要な人数 ⑤携帯番号を記入し送信してください。

締切り

お弁当をお申込みの場合は、10/18 (水) まで

"おためしこどもカフェ"は、子育て家庭を応援します！

主催/  
お問い合わせ

## 南信州子ども応援プラットフォーム

✉ [minami00kodomopf@gmail.com](mailto:minami00kodomopf@gmail.com)  
☎ 0265-53-0402 (南信州地域振興局内)



# さとにきたら ええやん

重江良樹 監督作品

(2022年製作『ゆめパのじかん』)

## いつでもおいでや。 子どもも大人も集まるみんなの“さと”



大阪市西成区釜ヶ崎。“日雇い労働者の街”と呼ばれてきたこの地で38年にわたり取り組みを続ける「こどもの里」。“さと”と呼ばれるこの場所は、障がいの有無や国籍の違いに関わらず、0歳からおおむね20歳までの子どもが無料で利用することができます。学校帰りに遊びに来る子、一時的に宿泊する子、様々な事情から親元を離れている子…そして親や大人たちも休息できる場として、それぞれの家庭の事情に寄り添いながら、地域の貴重な集い場として在り続けてきました。本作では「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたちと、彼らに全力で向き合う職員や大人たちに密着。子どもたちの繊細な心の揺れ動きを丹念に見つめ、子どもも大人も抱える「しんどさ」と、関わり向き合いながらともに立ち向かう姿を追いました。



## わたしはあんたの味方やで! 現在、求められている“居場所”の原風景



「こどもの里」の取り組みを通して、画面いっぱいにあふれ出る子どもたちや、釜ヶ崎という街の魅力を捉えたのは、大阪在住の重江良樹監督。「こどもの里」に関心を抱き、関わり、取材を始めてから足かけ7年、いま、初監督作品として本作を完成させました。音楽は地元・釜ヶ崎が生んだヒップホップアーティスト、SHINGO★西成。ストレートで飾らないメッセージの中に、街で生きる人々への熱い思いが詰まったSHINGO★西成の楽曲が、生きることそのものを力強く肯定し、映画全体をあたたく包み込みます。めまぐるしく移り変わる現代社会のなかで、子どもたちを巡る環境も急激に変化している今、あらためて注目されている「こどもの里」の“取り組み”が、これから歩む私たちに問いかけるものとは――?

### 「こどもの里」とは?

1977年設立の「子どもの広場」を前身とし1980年に現在の場所で「こどもの里」を開設。以後、子どもたちの遊び場であると共に、各家庭のケースに応じた短中期的な宿泊機能、長期的な養育をおこなう里親としての機能を持つ。

### こどもたちの 遊びと学び 生活の場です

誰でも利用できます。  
こどもたちの遊びの場です。  
お母さん お父さんの休息の場です。  
学習の場です。  
生活相談 何でも受け付けます。  
教育相談 何でもできます。  
いつでも宿泊できます。  
緊急に子どもが一人ぼっちになったら…  
親の暴力にあったら…  
家がいやになったら…  
親子で泊まるところがなかったら…  
土・日・祝もあいてます  
利用料はいりません



さとにきたら  
ええやん

監督・撮影：重江良樹 音楽：SHINGO★西成 プロデューサー・構成：大澤一生 編集：辻井渚 音響構成：渡辺文彦  
制作協力：神吉良輔（ふとっちょの木）、五十嵐美穂、上田昌宏、吉川謙 機材協力：ビジュアルアーツ専門学校大阪  
特別協力：小谷忠典 助成：委文化庁文化芸術振興費補助金 企画：ガーフィルム 宣伝・配給協力：ウッキー・プロダクション  
製作・配給：ノンドライコ 2015 日本/100分/カラー/16:9/5.1ch/DCP

www.sato-eeyan.com

fb.com/satoeeyan777 @sato\_eeyann

南信州子ども応援  
プラットフォーム HP



『さとにきたらええやん』  
公式サイト

